

令和 8 年第 3 回吉備中央町議会定例会一般質問通告まとめ

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
1	2	渡邊 順子 (一問一答)	へそ 8 バスについて	①手荷物について バスに乗車の際の手荷物について、大きな荷物の場合、運転手の判断によると聞いた。ここで手荷物の持ち込みについて、大きさの制限や条件などが、具体的に定められているのか。 ②回数券・乗継券について 4 月から回数券・乗継券が発行されている。利用状況と利用者からの反応など、どのように把握されているのか。 ③一部路線変更について まだ 5 か月しか経過していないが、路線変更による利用者への影響や利用者の増減など、行政としてどのように分析しているのか。 ④時刻表の変更について 4 月 1 日に新しい時刻表で運行されるようになった。しかし、同月 13 日には、新しい時刻表に変更されている。これについて理由は何か。また、この変更に当たっては、どのように周知されたのか。 今後もこのような時刻表の変更は、予定されているのか。 ⑤土・日・祝日の運行について 実証運行当初から、土・日・祝日の利用希望が多くある。この点について、前向きな検討はなされているのか。実証運行が続く中、本格運行をどのように見据えているのか。本格運行にむけて、ぜひこの点も含めて検討をしてほしい。 ⑥ライドシェアについて 公共交通でライドシェアの研究も始められている。今後の見通しはどうか。ライドシェアの導入・拡大が進んだ場合、乗り合い型デマンドタクシーやへそ 8 バスなどの役割分担は、どのように考えているのか。またそうなった場合、へそ 8 バスの今後の運行についてどうしていくのか何か方針があるのか。	町長
			旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校への移転について	来年度、旧津賀小学校・旧下竹荘小学校にそれぞれ移転が決まっている。 ①改修工事について 二つの旧小学校の改修工事は、どこまで進んでいるのか。計画通り進んでいるのか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
(1)	(2)	渡邊 順子 (一問一答)		②移転について 当初の計画・予定通り、移転は可能なのか。 ③移転後に残される建物について 移転後に残される建物について、今後活用または処分など、どのように考えているのか。何か計画はあるのか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
2	5	丸山 節夫 (一問一答)	移住定住対策について	町の現状は、中山間地域特有の少子高齢化と人口減少が急激に進む中、課題対策のひとつに若者世代や子育て世帯、都市部からの移住者を呼び込むための手厚い移住・定住対策に注力している。 主な移住・定住支援制度に関し、次の3点を問う。	町長
			1. 住みたいまち定住促進事業	①住みたいまち定住奨励金の活用実績と定住継続率の動向（過去5年間）と追跡調査の有無について ②制度要件の課題対策について 1) 要件の設定根拠 2) 年齢制限、世帯構成、申請期限に係る柔軟な対応の必要性 ③地域コミュニティ構築支援の現状と対策 主に移住完了後のフォロー体制（行政のアフターケア）について	
			高齢者福祉対策について	今日、町では、急速な人口減少と高齢化に起因する、交通移動手段・買い物・配食サービス（安否確認含む）の確保など、高齢者の日常生活の根幹を揺るがす深刻な状況が顕在化している。 係る課題対策として、次の3点を問う。	町長
			1. 日常生活支援事業	①交通移動手段（デマンド型乗合タクシー）について 1) 現在の利用状況 （登録者総数に対する高齢者層の割合） 2) 事前予約、運行日時制限の見直し 3) 財政負担と事業の持続可能性 ②きびアプリ、オンラインショッピング吉備中央町商店街事業の継続性について 1) 配送料の有料化に対する町の制度設計などの考え方 （主に住民の利用離れと事業者の持続可能性） ③配食サービス対策について 1) 現在のサービス利用者数 2) 配食サービスを支える事業者数 3) 見守り（安否確認）の現状 4) 1件当たりの配達コストに対する財政面での支援方針 5) 事業継続の課題点（担い手確保など）と今後の方針 （交通移動・買い物・配食、見守りに関する庁舎内連携の必要性を含む）	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
3	4	高森 学 (一 括)	国・県道の安全対策について	国県道の維持管理は道路管理者による管理がなされており、年に 1 回の草刈が行われている。 春ごろからは草木が繁茂し、国道であっても道路幅が狭小で大型車とすれ違う際には、大変気を遣う状況である。県道についても国道と同様に通行に支障をきたしていると思われる。 また道路側溝においても堆積物により、雨天時には排水があふれ大雨時には危険な状況である。 交通安全の観点から町長の意見を尋ねる。	町長
				小中学校生の通学はスクールバスで通学している児童生徒以外は、徒歩や自転車による通学である。 国県道に歩道が整備されていても草木が繁茂し、自転車等で通学している児童生徒の安全通学の観点から教育長の意見を尋ねる。	教育長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
4	6	河上真智子 (一問一答)	災害時のペットの同行避難について	災害時の避難所は命を守る場所だが、大切な家族の一員である犬猫は連れて入ることはできない。そのため車中泊を選択するケースが多いが、体調不良を招くリスクがある。	町長
			1. 同行避難に対する考え方について 2. 避難所での対応について 3. 避難所以外での対応について	町では災害時のペットの同行避難所として各小学校で可能としているが、拒否しないというだけで車中泊または屋外の指定スペースで対応することになっている。車中泊や猛暑などの環境のリスクを考えると改善の必要があると思うが、町の考えはどうか。 災害時には、避難所ごとにペットの受入れスペースが指示されるとあるが、具体的にはどのような場所を考えているのか。 災害時に受け入れが可能な施設や個人を事前登録してもらい、一定期間受け入れてもらう仕組みはできないか。	
			町内の足の確保(移動手段)について	町内の移動手段として、へそ8バスやデマンドタクシーが運行され利用者も増えている。しかし、運行時間の制限や土日祝日の運行がないことに対しては不満の声が聞かれる。	町長
			1. バス通学する学生の足の確保について 2. 吉備高原学園高校への通学の足の確保について 3. 土日祝日の足の確保について	高校生はバスで町に帰ってきてもバス停から遠い学生は家族の迎えがないと帰宅の足がない。保護者も仕事の都合などでいつも対応できるとは限らない。学生の通学の安全と利便性を考えデマンドタクシーの対応時間の延長はできないか。 来年度から始まる町内の吉備高原学園高校への通学については、路線バス・へそ8バスともに運行時間が合わない。せっかく町内の高校に通学が可能になったのに足の確保が困難では学生の選択肢が狭まる。中学校のスクールバスに混乗し、集合場所からは高校の車両でという対応はできないか。 衰退する公共交通に対応すべく日本版ライドシェアの導入が各地で検討されており、わが町も視察や勉強会に取り組んでいる。 ①各自治体で積極的に導入が進んでいないのもまた現状である。その要因をどのように分析しているか。 ②土日祝日のライドシェアの活用では、ドライバーの確保が大きな課題であると考えるが、この点に関してはどうか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(4)	(6)	河上真智子 (一問一答)	2027 年度介護保険法の改正について 1. 情報交換ツールについて 2. マイナンバーカードの活用について 3. マイナンバーカードを取得していない要介護者への対応について 4. ケアマネジャーの負担について 5. 認知症の利用者への対応について	2027 年度施行の介護保険法の改正の概要が示された。少子高齢化社会に対応するためデジタル技術の活用、地域包括ケアシステムの深化、給付と負担のバランスの見直しなどを主な柱とした改正がおこなわれる。 医療福祉関係者の情報交換の迅速化・負担軽減のために導入される『LINEWORKS』の運用について開始時期等の概要はどのようなか。 マイナンバーカードに保険証が紐づけされたように、介護保険被保険者証も紐づけされる方針が示された。現在の進捗状況はどうか。 マイナンバーカードへの紐づけに併せて導入が進められている「介護情報連携基盤」の活用は、要介護者の最新の医療情報や日常の様子の変化が把握しやすくなり、より良いサービスにつながる。未取得者に対する説明や取得のサポートはどのように考えているか。 システム移行期には、マイナンバーカードと紙の資格確認証が混在し、両方の対応が必要になる。加えて利用者からの説明を求められることも多くなる。ケアマネジャーの負担が増加するのではないかと考えるが、対策は考えているのか。 認知症が進んだ利用者には、マイナンバーカードの管理は難しい。家族の支援が得られない単身または高齢者のみの世帯への対応はどのように考えているか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
5	11	黒田 員米 (一問一答)	1. 人口減少時代における持続可能な地域づくりについて	人口減少・高齢化が進む中、自治会運営、草刈り、水路管理、防災、高齢者の見守り、地域行事など、これまで住民が担ってきた地域機能の維持が困難になりつつある。今後は「人口が何人になるか」だけでなく、「人口減少によって地域で何ができなくなるのか」を把握し、将来を見据えた対策が必要と考える。 ①地域活動について、5年後、10年後の維持可能性を地域ごとに調査し、「地域機能カルテ」等により見える化する考えはないか。 ②一つの自治会だけでは維持が困難となる地域活動について、複数の自治会や団体等が連携して担う仕組みを検討する考えはないか。 ③防災、福祉、交通、環境整備等を地域単位で横断的に担う「小規模多機能自治」や「地域運営組織」の導入を検討する考えはないか。 ④その際、地域任せとするのではなく、行政が人材・財源・専門的支援等を行う伴走支援の仕組みを構築する考えはないか。	町長
			2. 行政判断の透明化と説明責任について	住民から行政に対して様々な相談や要望、申請が行われる中で、その可否や取扱いについて、担当課や担当者によって判断や説明が異なることがあれば、住民の行政に対する不信感につながることが懸念される。行政の判断は、法令、条例、規則、要綱等に基づき、組織として公平かつ一貫して行われるべきであり、特に住民の権利や地域活動に係る事項については、「なぜ認められないのか」「何を根拠として判断したのか」を明確に説明することが重要である。そこで、以下について伺う。 ①住民からの申請、相談、要望等に対する行政判断について、担当者個人の判断とならないため、どのような確認・決裁体制をとっているのか。 ②同様の案件について担当課や担当者によって判断が異なった場合、どのように調整し、最終的な町としての判断を決定するのか。 ③住民から不許可や不承認等の理由について文書での説明を求められた場合、町として文書により説明することを原則とすべきではないか。 ④町長部局と教育委員会など、それぞれ独立した権限を持つ行政機関の判断が異なる場合、住民が混乱しないよう、どのような調整を行うのか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
(5)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		⑤住民が、申請・相談・要望等に対する行政判断に対して不服な場合には、行政に対して意見を申し入れる窓口はあるのか。 ⑥住民に影響を及ぼす行政判断について、判断基準や根拠を明確化し、可能な限り公開する「行政判断の透明化」に取り組む考えはないか。 ⑦6月定例会にて質問をした「協働でひらく新たなまちづくり実践事業補助金で、団体主催者の配偶者は常に構成員となり謝礼は受け取ることはできない」案件については、何を根拠として、誰が判断をしたのか。	
			3. 公共施設の適正配置と将来負担について	本町には多くの公共施設が点在しており、今後一斉に老朽化が進めば、維持管理や改修、建替えに多額の財政負担が生じることが懸念される。 町では「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設計画」を策定しているが、人口減少が進む中、すべての施設を現在と同様に維持・更新していくことは困難と考える。 近隣自治体では、公共施設の集約化とともに、不要となった施設の売却や積極的な解体・除却を進め、将来の維持管理費削減に取り組んでいる。そこで今回は主に建物を中心に以下を伺う。 ①現在の公共施設を今後、維持・更新した場合、将来どの程度の財政負担が必要になると見込んでいるか。 ②公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく、統廃合、集約化、売却、除却等の進捗状況はどうか。 ③人口減少や利用状況を踏まえ、「残す施設」「集約する施設」「用途変更する施設」「売却・除却する施設」をより明確にし、施設総量を縮減する必要があるのではないか。 ④将来世代へ過大な維持管理・更新費を残さないためにも、利用見込みの低い施設について、民間への売却や譲渡を検討するとともに、活用が見込めない施設は計画的かつ積極的に除却する考えはないか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
6	7	平澤 一浩 (一 括)	第 3 次総合計画 策定に向けた基本 姿勢について	本町では、第 2 次総合計画の計画期間を 1 年延長し、令和 9 年度を始期とする第 3 次総合計画を策定するとともに、総合戦略を総合計画に包含（一体化）することとしている。 両計画を一体化することで、計画相互の関係性を明確にし、整合性のとれた計画とするとしているが、この機会を今後 10 年間のまちづくりを改めて考える契機とすることが重要である。 そこで、第 2 次総合計画の 10 年間を町長はどのように総括し、これまでのまちづくりの成果と、今後に引き継ぐべき課題をどのように捉えているのか。 また、第 3 次総合計画の策定にあたり、これからの 10 年間をどのようなまちづくりの期間と捉え、10 年後の吉備中央町をどのような町にしていきたいと考えているのか。 町長が描く 10 年後の吉備中央町の姿と、その実現に向けた基本的な考え方を問う。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
7	1	日名 由香 (一問一答)	気候変動対策について	近年の厳しい暑さや気候変動に対応し、暑さから命を守る「適応」と、脱炭素化を進める「緩和」の両面から、安心して暮らせる環境づくりについて伺う。	町長
			1. 暑さ対策の現状と今後の取り組みについて 2. 脱炭素化に向けて	①クーリングシェルトの設置数、開放日数、利用人数等の利用状況と、その状況に対する町の認識を伺う。 ②高齢者や自動車を運転できない方など、クーリングシェルトへの移動が困難な方への暑さ対策についてどう考えているか。 ③高齢者世帯や経済的負担の大きい世帯等を対象に、暑さ対策の観点から、エアコンの新規設置や省エネ性能の高いエアコンへの買い替えを支援できないか。 ④近隣市町では、脱炭素化に向け、家庭から排出される二酸化炭素の削減を図るため、省エネルギー設備等の導入に対する支援が行われている。本町においても、省エネ設備、太陽光発電設備、蓄電池、EV等、家庭におけるスマートエネルギー設備の導入を支援する制度を創設しないか。 ⑤「吉備中央町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」では、公用車の低炭素化として2030年度までにハイブリッド17台2040年度までEV車7台を導入していく計画になっている。 現在の公用車の総保有台数と、そのうちEV、PHEV、ハイブリッド車、外部給電可能な車両のそれぞれの保有台数を伺う。 また、公用車について、車両ごとの年間走行距離、年間利用日数、稼働率等の利用実態を把握しているか。あわせて、利用頻度の低い車両を含めた保有台数の適正化や、可能な車両を部署ごとの管理ではなく一元的に管理・共有する仕組みづくりはできないか。 ⑥県の「地域脱炭素化支援事業」等を活用して外部給電可能なEVを導入し、平常時は公用車、災害時は避難所等へ電力を届ける「移動できる電源」として活用はできないか。	
			役場窓口のあり方について	行政手続きのデジタル化等が進む中、本町の地域特性を踏まえ、町民の利便性を確保しながら、より利用しやすい行政サービスのあり方について伺う。	町長
			1. 窓口対応の現状	①本庁舎及び各支所における時間帯ごとの窓口利用状況、特に午前8時30分から9時まで、午後4時30分から5時15分までのそれぞれの利用状況は。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
(7)	(1)	日名 由香 (一問一答)	2. 今後の見通し 3. 行政サービスのデジタル化 4. 移動行政サービス	②窓口の利用実態や職員の業務状況を踏まえ、町民の利便性を確保しながら窓口時間を見直す考えはあるのか。 ③オンライン申請や電子決済等を活用し、申請から支払い、受け取りまで、できる限り役場へ出向かずに完結できる行政サービスを拡充することはできないか。 ④役場までの移動が困難な方への対応として、車両で地域を巡回し、各種申請や行政相談を行う「移動行政サービス」をできないか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
8	3	我妻 瑛子 (一問一答)	福祉避難所の運営	①現在、町が協定を結んでいる福祉避難所はどこか。 ②各避難所の定員は何名か。 ③各福祉避難所の利用対象者を、町と施設はどのように把握しているのか。 ④施設側に対し、事前に対象者の個人情報の提供はあるのか。 ⑤福祉避難所の運営は誰がおこなうのか。また、責任の所在はどこにあるのか。 ⑥運営に必要な物資や人員の確保はどのように進められているか。 ⑦避難訓練の実施状況はどうなっているか。訓練に際し、見えた課題は何か。	町長
			吉備中央町の公共交通	①来年度が最終年度となる地域公共交通計画(令和 5 年から令和 9 年)において、何を課題とし、残りの期間でどのように対応していくのか。次期地域公共交通計画において何を指すのか。 ②本町の高校生の通学には保護者によるバス停や学校までの送迎が基本的に必要であり、通学以外の生活においても(習い事、買い物、友人宅への訪問など)、自分で動くことが困難である。保護者の手を離れて、本来、行動範囲を大きく広げる時期の中学生、高校生が自らで自由に動ける環境を保障するために、へそ 8 バス、デマンドタクシーの平日日中のみの運用を、放課後や休日に利用可能な運行を検討してはどうか。	町長
			外国人労働者の状況と課題	令和 8 年 1 月 1 日における住民基本台帳によると、吉備中央町の外国人は 339 人。人口あたりの割合が 3.4%と、高梁市に次いで岡山県内で 2 番目に多い本町において、外国人労働者、外国人技能実習生の状況をどのように認識しているか。また共生社会の推進をどう展望しているか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質 問 内 容	答弁者
9	8	山崎 誠 (一問一答)	旧下竹荘小学校 施設の整備状況 について	旧下竹荘小学校の施設は、教育委員会、子育て推進課、 包括支援センター、社会福祉協議会、公営塾などの移転 が予定され整備が進められているが、先般 7 月 27 日 に行われた施設改修の入札は不調となった。以下、尋ね る。	町長
			1. 入札不調の理 由について	入札が不調となった原因、もしくは理由は何か。	
			2. 移転計画につ いて	各課などの移転は予定どおり進むのか。計画に変更はない のか。	
9	8	山崎 誠 (一問一答)	しらさぎ事業所 などの利用と管 理について	社会福祉協議会が入所しているしらさぎ事業所など 5 施 設は、現在社会福祉協議会が指定管理を受けていると承知 している。社会福祉協議会が旧下竹荘小学校へ移転した場 合、あとの活用と管理はどのように計画されているか。	町長
			1. 各施設の活用 と管理について	①しらさぎ事業所 ②生きがい支援センター ③共同作業場 ④ゲートボール場 ⑤ミニゴルフ場	
			旧津賀小学校の 整備状況と旧加 茂川庁舎につい て	旧津賀小学校の施設へは、加茂川総合事務所、定住促進課、 かもがわ図書館、津賀公民館などの移転が予定されてい る。施設改修は令和 8 年度後半着手、令和 9 年度中整備と されている。今後の見通しについて尋ねる。	町長
9	8	山崎 誠 (一問一答)	1. 整備の工期に ついて	国際紛争によって、石油関連資材の不足が取り沙汰されて いる。令和 9 年度中に整備できるのか。	
			2. 予算について	今年度 3 億円余が計上されている。資材不足とともに資材 の高騰は続くと思われる。3 億円で収まるのか。さらに追 加費用が発生するのか。また、当初予算 3 億円余に加茂川 総合事務所に設置されている光ファイバー中枢設備の予 算は含まれているのか。	町長
			3. 利用者見込み について	先般の総務産業常任委員会では、利用見込みは調査してい ないとの説明であった。3 億円超の巨費を投じる事業であ り、利用見込みを立てていないとすれば杜撰な計画の誹り を免れない。どのように考えているのか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(9)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	4. 移転後の旧加茂川庁舎について	加茂川総合事務所などが移転した後の旧加茂川庁舎の建物はどうなるのか。解体するとすれば、予算などは見積もっているか。	
			道路管理の不備による損害賠償について 1. 管理責任と損害賠償について	町道、広域農道など町の管理する道路の総延長はきわめて長い距離に及んでおり、枯れ松など道路側への倒木危険箇所が随所に見られる。これから台風シーズンに入り倒木の危険度は増すと思われる。万一事故になった場合の補償について尋ねる。 町道維持管理規則によれば、「町道の管理は、町長が行う」となっており、設置管理者の不備によって事故が発生した場合、国家賠償法第 2 条第 1 項に基づき判断されるとなっている。 ①自動車の走行中直前で倒木があり、通常の運転操作では回避不能で事故が発生した場合、責任は 100%町側にあると思料するがそれでよいか。 ②車両に損傷が生じた場合、過失割合によって補償額は算定されるが、100%町に責任がある場合全額補償されると思うがそれでよいか。 ③死傷など身体に被害が及んだ場合も物損と同様の基準で過失割合によって補償されるのか。	町長